



あけぼの

第45号 2019. 3. 1
宇和特別支援学校
(知的障がい部門)
図書館発行

皆さんはこの一年間をどのように過ごしましたか。本との出会いはありましたか。本によって感動の世界を味わったことがありますか。「漫画」や「雑誌」も本という形を持ったものかも知れませんが、ここでいう「本」とは、小説や歴史、伝記、随筆、詩のような文芸的な読書の意味を持つ「本」のことです。このような「本」には、時代と距離を超えた夢とロマン、豊かな知識、筆者や登場人物などの様々な人の考え方や生き方が秘められています。読むことによって、未知の世界を探る感動を味わうことができるのです。



「感動の世界へ」
校長 向井 誠二

一年ほど前にはなりますが、2017年のノベル文学賞を日系イギリス人小説家イシグロ・カズオさんが受賞されました。イシグロさんの受賞記念スピーチを読むと、イシグロさんの人柄や生き方とともに、「文学」の持つ意味についてイシグロさんの考えに触れることができるものとなりました。受賞スピーチの後半で次のようにまとめられています。「文学の持っている意味は感情を伝えることです。感情こそが国境を超え、同じ人間として共有できるものだからです。(中略) 分断が危険なほど深まっている時だからこそ、私たちは耳を澄ませて聞かなくてはなりません。良いものを書き、良いものを読めば、壁を打ち破ることができます。そこで新しい考えや、私たちをつなぐ人間的で偉大な視点も見つかるかも知れません。」このコメントから、イシグロさんの考える「文学」の姿がはつきりと見えてくると思います。

イシグロさんのコメントのように、世界のどこかの誰かと同じ感動を共有しているかも知れません。読書をすることで、知識を深めるとともに人間としても幅を広げることができると思います。それとともに本は考える力を与えてくれます。良い本を読むことは、世界の人々や過去や未来の人々と繋がりながら、将来の生活をより豊かなものにしてくれると思います。是非、良い本に巡り会い、夢を追うセンスを高めてほしいと思います。



読書感想画 作品展



「かえうた かえうた こいのぼり」

小二月 沖田 聖翔・塩見 蓮

増田 煌大

小二月 松下 晟風



「クリスマスのかくれんぼ」

小三月 沖本 千紗・木村 彩里

高橋 幸笑・戸梶 茜梨

山内 美優



「じゅげむ」を読んで

中三C □□ 祐希



「11ぴきのねこ どんぐり」

中三A 河野 日生里



「寿限無」

中三B 奥谷 維吹



「つゆめ」

中三C 徳田 遥希



「かつちゃん黄色い長ぐつ」

中三A 石城戸 彪希



「十二支のはじまり」を読んで

中三B 下石 涼



